

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	プレイジム			
○保護者評価実施期間	2024年12月11日		～	2024年12月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38人	(回答者数)	23人
○従業者評価実施期間	2024年10月8日		～	2024年10月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数)	5人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月12日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	【対象児の特性理解と適切な助言】 ・事業所は対象児の特性をしっかりと理解し、保護者に対して適切な助言を行っていることと評価されています。	・日々の支援会議で丁寧な事例検討を重ねること、そのプロセスにおいて柔軟に知識を活用することの重要性を職員間で共有しています。	・特性に理解に役立つ知識を蓄積していくための情報シートの作成、AI等を活用した広範囲な情報の収集、文献抄読などを日々の業務として根付かせていくための取り組みを行います。
2	【適切な個別支計画作成と実施】 ・事業所は対象児の支援ニーズおよび保護者ニーズを捉え、的確な支援計画を作成し実施していると評価されています。	・定期的なモニタリングを通して支援計画の妥当性や支援内容の適切性について検討し、必要に応じて支援計画や実施内容の修正を行っています。	・モニタリングの頻度やその情報共有の様式などを検討し、さらに効率的かつ効果的なモニタリングができるための取り組みを行います。
3	【支援内容の柔軟性】 ・事業所は個別支援計画に基づいて固定化されないよう柔軟に支援が行われていることと評価されています。	・子ども中心の支援を意識し、利用児にとって意味のある目的的な活動を常に提供できるよう各職員が意識し実践しています。	・利用児に合わせて柔軟性のある支援を行い、それが定型的な支援と比べより効果的であるという根拠を示すための取り組みを行いたいと考えています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	【チームプレイ(連携)の弱さ】 ・集団療育においては担当スタッフ間での振り返りはあるものの、十分な支援内容検討の時間を持つことが難しい状態にあります。また、個別療育に関する情報共有はあまり行えてない状態です。	・従来より事業所の方針として個別的な療育が主であるため、職員間での連携の機会が乏しく、その結果、多面的な視点による事例検討が十分でない可能性があります。	・多職種(保育士、作業療法士、言語聴覚士)が勤務しているメリットを最大限に生かした個別支援会議や日々の実践の在り方が可能となる業務体制を整えます。
2	【アセスメント力の低さ】 ・保護者アンケートでは、そのような記述はありませんが、事業者用自己評価では、「アセスメントが十分できていない」との記述が散見されます。	・フォーマルなアセスメントツールは多用していますが、その解釈を総合的に捉えることやインフォーマルなアセスメント(行動観察)を十分に行えていないことがあります。	・個別支援会議において、アセスメントツールの解釈をさらに深めることができる工夫が必要と思われます。また行動観察については、複数のアセスメント者による結果の比較ができるような機会を設定することが必要と思われます。
3	【保護者同士の交流の機会が少ない】 ・保護者アンケートの結果では交流に関するニーズは高くないように思われますが、保護者懇談会では、「経験者の話を聞いてみたい」などの声も聞かれます。	・事業所としては、交流に関するニーズは様々であるため積極的にサポートしてこなかった面があります。しかしながら、今後は交流を通じた保護者主体の保護者支援のあり方を検討していく必要があると考えています。	・次年度の保護者支援講座等にて、緩やかで自由度の高い保護者交流の機会を効果的に取り入れていきたいと考えています。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ブレイジム
------	-------

公表日 2025年 3月 9日

利用児童数 38

回収数 23

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	22	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・落ち着いた取り組みの程良い広さの空間だと思います。主にパソコンを使う作業が多いようなので十分だと思います。</li> <li>・プログラミングを実施するのに適切なスペースが確保されていると思います。</li> <li>・ロボ研活動するには、お互いの言葉が聞こえる距離間で良いと思います。</li> </ul>	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	20	1	0	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1対1、もしくは2対2で手厚くて良いと思います。</li> <li>・困った際のフォローやどのように取り組みができていくか客観的に見ることもできており人数配置は適切だと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、必要最低限の人員で運営しています。次年度は職員を増員したいと考えています。</li> </ul>
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚支援も増えていて最近では特に分かりやすくなったと感じます。</li> <li>・ラベルが貼ってあるなど、わかりやすいと思います。本人からも特に困ることはない聞いています。</li> <li>・子供にわかりやすいように配慮されていると思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、個々の利用者に合わせて配慮等を行っています。</li> </ul>
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	23	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつも清潔で整頓されていて心地よい空間だと思います。</li> <li>・いつ行っても机の上に無駄なものがなく、その時に必要なものしかないのが、理想的な空間だと思っています。</li> <li>・清潔であり物品の位置もわかりやすく、活動に合わせた空間になっていると思います。</li> </ul>	
適切な 支援 の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	23	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・違った行動をする事に丁寧な関わり、次回どうしていくかなどを考えて下さっている。</li> <li>・保護者の悩みに対して的確にアドバイス頂き、いつも心をずっと軽くしてもらい感謝しております。</li> <li>・障害者としての特性と娘個人としての性格なども把握して頂いての個別支援をずっとして頂いていると感じています。ありがとうございます。</li> <li>・読み書き困難なためIT機器を使った作業が多いです。特にタイピングの習得は今後、本人にとってなくてはならないものになると思いますので、本人に合った支援が受けられていると思います。</li> <li>・適切な支援が受けられていると思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、専門的視点でのこども理解(行動理解)に基づき、適切な支援を心がけて行っています。</li> </ul>
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21	0	0	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一貫した方針が私達保護者にも伝わっていると思っています。その方針に対して保護者の考え方として合う、合わない、とハッキリと分かれるイメージもあります。</li> <li>・合っていると思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブレイジムでは、理念に基づく支援プログラムを心がけており、支援プログラムを通して、保護者にその理念が伝わるよう努めております。</li> </ul>
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	23	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画書なども毎回丁寧な説明をしながら懇談して下さるので感謝しております。</li> <li>・専門的な先生方の見え方と保護者の視野の狭さで違いがあるので、本当の意味での「支援」に対しての取り組み方が素晴らしいと感じています。子ども自身を尊重して下さる目線で作成してもらっていると感じています。</li> <li>・保護者の意見もしっかり取り入れていただき、本人に必要な支援内容が作成されていると思います。</li> <li>・客観的に分析されているので、とても参考にさせていただいております。</li> </ul>	

	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22	0	0	1	・長らくお世話になっていますが、ずっと成長に合わせた支援を取り組んでくださり、その都度保護者としても救われています。 ・設定されていると思います。	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23	0	0	0	・しっかりと行われているし、成果も感じながら色々な方面からのアプローチを考えてくださり複合的に支援してもらっていると感じます。 ・経過に沿った支援が実施されていると思います。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20	1	0	2	・毎回、その都度の成長や課題に合わせて取り組んでもらえてると思います。 ・毎回子どもが楽しめるような工夫や段階付けで目標に向かって取り組んでいただいているので、子どもが楽しみにしています。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	3	11	5	・分かりません。 ・そのような機会は保護者としても特に望んでいないため、不満はありません。	・ブレイジムでは利用児が居住する地域でのインクルーシブを理想としており、ブレイジムと近隣の放課後児童クラブとの交流の機会などは設けていません。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23	0	0	0	・いつも丁寧に説明してもらっています。 ・説明していただきました。	
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23	0	0	0	・説明もしっかりともらい、こちらの質問や相談などもキチンと聞いてくださる時間がたっぷりも取られていると思います。 ・計画を見ながら（読み上げながら）支援内容の説明をしてもらっています。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	22	1	0	0	・定期的に行っていますが、予定がある事が多く、タイムリーに参加は難しいことが多いですが、あとで見直す事もできる事もあるので助かっています。 ・オンラインセミナー等で正しい知識を知る事ができ、不安が軽減され、特性に合った接し方ができるようになりました。 ・いろいろなプログラムをご提供いただいているのに、私の都合が合わず参加できないものもあり申し訳ありません。	
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	19	2	1	1	・短い送迎の時間でも話をできています。 ・連絡表に、眠そう・口数が少なかった・歌いながらいきいきと作業していた、などの様子がかかれてあります。それに対して寝不足気味だったなど、家庭での様子も返信しているので、ある程度の状況は理解していただけていると思います。 ・送迎時や見学時に話すことができるので、共通理解はできていると思います。 ・共通理解できていると思います。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21	2	0	0	・行われています。 ・家庭での困りごとなど、相談させていただいたときは些細なことでも助言していただいています。 ・学校での困り事を伝えると評価して下さり、すぐにアドバイスいただけて大変助かっています。 ・定期的な面談や必要時にはサポートしていただいております。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23	0	0	0	・いつも親身にプロの視点で考えてくださっていると思います。 ・いつも寄り添って支援してもらい頼りにさせてもらっています。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	4	4	8	・Zoomで、保護者会も実施されている。 ・希望ですが、保護者同士で語り合う場や時間があれば、更に良いかなと思います。 ・きょうだい向けの特別な機会はありますが保護者としても特に望んでいません。	・保護者の交流の機会を持つことは、保護者によってニーズが異なるため積極的に実施していませんが、今後は効果的な保護者交流の在り方について検討すべきと考えています。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	1	0	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・迅速に考えて動いてくださっているとします。</li> <li>・対応していただいています。</li> <li>・今は落ち着いていますが、不安定な際に相談した時は、いつも迅速に対応していただいております。</li> </ul>	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・療育内容を毎回メールで送って頂けるので何をしているのか知る事ができ助かります。内容によっては文章では伝わり難いものもありますが、次の通所の際に質問すると実際に使用した物を見せて頂けるので分かりやすいです。</li> <li>・メールではわかりづらい内容だと電話や直接お話ししていただいたりしています。</li> <li>・送迎の際や、メールで、療育の時の子供の様子を知ることができています。</li> </ul>	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	18	2	0	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・されています。</li> </ul>	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大丈夫だと思いい安心してます。</li> <li>・個人情報の取り扱いについて問題ないと思います。</li> </ul>	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19	2	0	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明していただきました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まだ保護者への周知は十分でないようですので、引き続き資料の作成などを行う予定です。</li> </ul>
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17	1	0	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人の特性に合った避難訓練が行われています。</li> <li>・避難訓練も実施しており、非常災害時に子供がイメージできるようになったと思います。</li> </ul>	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	2	0	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思います。そのため安心して預けています。</li> </ul>	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	0	0	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故等が発生したことがないのでわかりません。</li> </ul>	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	22	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎週楽しみに前向きで向かっているとします。</li> <li>・通所し始めて9ヶ月目、安心感といわれると、わかりませんが、歌いながら作業していたことがあるとお聞きしたので、きっと素の自分でいれる場所になってきているのかなと思います。</li> <li>・プレイジム以外は行きたいところは特にないと云うくらい、心地よく安心感を持っている様子です。</li> </ul>	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	21	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しそうに課題に取り組んでいます。</li> <li>・活動内容が興味のあること、好きなことがほとんどなので、楽しみにしています。</li> <li>・「今日はなにをするかな」と毎週通所を楽しみにしています。</li> <li>・毎週楽しみにしており、活動内容について話をしてくれる日も増えてきました。</li> </ul>	
	29	事業所の支援に満足していますか。	23	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大満足です。</li> <li>・いつもの確かなアドバイスを頂き、感謝しております。</li> </ul>	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ブレイジム				公表日	2025年 3月 9日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	・スペースや時間帯などを工夫している。 ・支援室の数やスペースに見合った人数と契約し、無理な集客をしていない。	・同室で異なる活動を行う場合、パーティションなどをもっと活用していく必要がある。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0	・各利用児のニーズに合った資格を持った職員の配置が考えられている。	・現状は必要最低限であり、今後はゆとりをもった配置数が望まれる。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0	・複数のお子さんが入り出す時間帯には、玄関の靴がバラバラになっていて出入りづらいことがある。	・日々構造化などの工夫を行っているが、個別性はまだ十分ではない。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	1	・日々の定期清掃だけでなく、その日の療育内容に合わせた清掃も行っている。	・衛生面で概ね問題はないが、消毒の頻度などが徹底されていないときもある。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	・子どもの様子に合わせて随時他スタッフと連携している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	2	1	・業務改善のために関係する職員同士でコミュニケーションをとりながら進めている。	・職員の参画はあるが、主体的な関与は低い。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	・対面では聞けないような意見を聞くことができ、その内容をもとに自身の支援を振り返ることができる。	・保護者の意向等を取り入れて行っていないこともあるのではないかと。 ・今年度、保護者支援を強化するなどの取り組みを行った。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	・ブレイルームや道具の使い方について、職員同士で話し合う機会がある。	・日々のミーティングで業務の問題点を挙げ、その解決のための具体的方策を検討している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	3		・第三者による外部評価は受けていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	・職員が希望する研修には原則として参加できる。	・事業所としてそれぞれの職員がどのような研修を積み上げていくべきかは十分に検討できていない。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0	リーフレット、HPIにて現状の支援プログラムを公表している。	・5領域に対応する支援プログラムは現在公表準備中である。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0	・アセスメントが不十分なこともある。 ・支援計画のための会議を丁寧に行っている。 ・モニタリングや保護者面談を実施している。	・専門性に基づくアセスメントのさらなる質的向上が今後の課題である。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	・5領域になったことで、各スタッフの専門以外の分野が含まれることがあるが、他スタッフの意見を取り入れながら計画を検討できてきている。	・個別支援会議にてこどもの最善の利益を考慮した検討を実施しているが、会議時間が十分に確保できず全員の職員が参加できないこともある。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	・担当間で支援内容に関する打合せを随時実施しながら支援にあたっている。	・個別的な支援が中心であり、職員間での計画の共有は十分ではない。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0	・日々の支援と支援結果（アセスメント）から次のプログラムを考えるようにしているが、内容の細やかさはまだ足りていない。 ・様々なアセスメントの中から、お子さんに適したものを選択している。 ・アセスメントを行うための適切な検査の提示がある。	・フォーマルなアセスメントは活用しているが、インフォーマルなアセスメントを効果的に活用していくことは今後の課題である。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	・適宜、ガイドラインを確認しながら進めている。	・概ねできているが、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」に関する実施が十分でないこともある。	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数の支援者によって実施している小集団プログラムについては、立案をチームで実施している。</li> <li>・個別療育でも相談できる環境はある。</li> </ul>	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動プログラムは各担当が行っている。</li> <li>・他スタッフにも意見を聞き、行っている。</li> </ul>	・子どもの変化に合わせて活動もステップアップするよう工夫している。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3	1	・利用開始時に、支援ニーズに基づいた個別活動、集団活動の必要性を検討している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団療育では行っているが、簡単な打ち合わせになっている。</li> <li>・進行しながら確認することもある。</li> </ul>	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・療育スケジュールが詰まっていることもあり、その日に時間を取れないことが多い。</li> <li>・複数の職員で実施する小集団活動の場合には振り返りを行っているが、個別活動の場合、職員間で振り返りを実施することは少ない。</li> </ul>	・現在の制度・体制では、十分に振り返りの時間を確保することは困難である。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	・記録をもとに事後評価を実施し、計画の修正・変更につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に児童発達管理責任者による療育現場でのモニタリングを実施し、見直しのポイントなどを支援担当者意見交換している。</li> </ul>	・モニタリングを定期的に行っているが、頻度が適切であるか検討が必要である。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	2	2	・子どもに必要な基本活動を提供しているが、「地域交流の機会の提供」は、当放課後等デイで実施する必要はないと考えており、実施していない。	
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大枠は支援者が決めているが、内容を調整する時に相談する機会を設けている。</li> <li>・活動の順番、内容、時間配分などをスケジュールや時計を使って自分で選択できるような工夫がある。個々の目標による。</li> <li>・活動を選択すること、代替コミュニケーションシステムを活用した意思伝達の支援などを実施している。</li> </ul>	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	・児童発達管理責任者もしくは療育担当者が出席している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	1	・現在、関係機関との連携にまで十分対応することができていない。	・次年度より教育現場との定期的な情報共有を行う体制を整える予定である。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	1	3	・送迎を行っておらず、そのような内容の情報共有は必要としていない。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	3		・現在実施できていないが、今後は必要に応じて実施する予定である。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	2		・放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行するケースが少なく、そのような機会はあまりない。今後は必要に応じて実施していく予定である。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	3		・今後は必要が生じれば機会を設ける予定である。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	4	・当事業所としてはそのような必要はないと考えている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	2	・管理者は事業者部会委員として活動しているが、直接支援の職員は業務の関係でなかなか参加できる機会がない。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・療育を見ていない保護者とは、療育後に話をする機会を設けている。</li> <li>・送迎の際など、積極的に話をするようにしている。</li> </ul>	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンラインの講習会の無料参加や懇談会で家族への公演や情報提供を行っている。</li> <li>・ホームプログラムの共有をしている。</li> </ul>	・オンラインなどを活用し実施しているが、必要な家族に必要な支援が届いていない可能性がある。

保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	・契約時に説明している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	・計画作成前に面談等を行っている。 ・事後評価面談に保護者だけでなく、可能な場合は本人も同席し意向を聞き取っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	・「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行っている。 ・計画説明に本人も同席し、同意も得ることもある。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	・定期的な面談に加え、保護者からの依頼に応じて相談の機会を設けている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	4	・保護者会は組織していないが、定期的に保護者会を開催している。 ・きょうだい同士や保護者が集まる機会はない。	・保護者の交流の機会を持つことは保護者によってニーズが異なるため、今後は効果的な保護者交流の在り方について検討すべきと考えている。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	2	・対応体制が整備されているとは言えないが、適切に対応している。	・これまで申入れなどはほとんどなかったが、今後そのようなことがあれば適切に周知しながら改善していきたい。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	1	・メールで連絡事項は配信されており、非定期ではあるがメール配信による通信発行を行っている。 ・ホームページで過去に行った懇談会なども見ることができるようにしている。	・今後、メール配信の頻度を上げる必要がある。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	・個人情報の取扱いに問題が生じた場合、個人情報管理委員会にて適切に処理している。 ・職員同士で声を掛け合い、ヒヤリハットなども作成している。 ・セルフチェックシートを用いて常に意識できるようにしている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	1	・視覚的な情報伝達などの配慮を実施しているが、充分ではなく理解出来ていないこともある。	・今後さらなる配慮が必要である。
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5	・当事業所ではその必要はないと考えている。		
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	・職員への周知はされている。 ・感染症対応訓練などを実施している。	・家族への周知は十分ではない。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	・定期的に避難訓練などを実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	・個人情報ファイルの第1面に記載している。 ・担当職員だけでなく、他職員とも共有している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	2	・飲食を伴う療育を行う際には確認しているが、医師の指示書ではなく保護者からの情報で対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	・定期的な点検を実施している。 ・掃除の時間に危険箇所がないか点検を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	2		・まだ十分な周知ができていない。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0		・ヒヤリハットの件数が少なく、潜在的なヒヤリハットが多い可能性もある。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	・定期的な研修、セルフチェックなどを実施している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	・委員会での検討を行い、その内容を踏まえ児童発達支援計画に記載している。 ・身体拘束を行った記録を共有し、どのようにして減らしていくかの検討もしている。		